

## 平成28年度 教育指導の構想

### ① 学校教育目標

学校の基本的な役割は、一人一人の能力・個性を最大限に発揮させ、これからの社会の中でその一員として、心豊かに、創造的に生きていくことのできる子どもを育てることにあると考える。

本校のもつ歴史と伝統を受け継ぎ、橘町の豊かな自然や地域力を生かしながら、職員が一体となって教育活動に取り組んでいくことにより、児童の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育んでいきたい。

#### 学校教育目標

生きる力を身に付け、地域の思いを受け継ぐ ときわっ子の育成

#### 児童信条

やればできる 磨けば光る 一歩でも前進 続けて 続けて

### ② 基本方針

#### ア 確かな学力を育む教育活動の推進

- 児童の学力や学習状況の現状を把握・分析し、指導方法の工夫・改善を図る。
- 学ぶ意欲を高めるため、自主的・自発的な学習による思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実を図る。
- 一人一人に応じたきめ細かな指導の充実とICT機器の活用により、授業の質の向上を図る。

#### イ 豊かな心を育む教育活動の推進

- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育や人権・同和教育、家庭や地域、関係機関等と連携した体験活動の充実を図る。
- 不登校やいじめ問題に対して、未然防止や早期発見・早期対応など適切に対応できる校内体制や関係機関等との連携等の強化に取り組む。

#### ウ 健やかな体を育む教育活動の推進

- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。
- 運動習慣の形成や運動意欲を高め、体力向上を図る。

#### エ 幼・保・小・中連携の推進

- 幼保との交流活動などを通して、基本的な生活習慣の指導などの連携を図る。
- 中学校と連携した授業や研修等により、中学校進学を見通した生活指導・学習指導を行う。(武雄中学校との連携)

#### オ 時代のニーズに対応した教育の推進

- 官民一体型学校の推進を核として、地域と一体となって児童を育てる開かれた学校づくりに取り組む。
- 特別支援教育に関して、教職員全体の専門性の向上と校内支援体制の充実を図る。

### ③ 本年度教育の重点

#### ア 学力の向上と定着

- ・学び合いのある授業の創造
- ・国語科及び算数科を中心として、言語活動の工夫
- ・安心して聴き合い、学び合うことのできる学級づくり
- ・授業と連動し、主体的に学ぶ力をつける家庭学習の充実
- ・個別指導の充実

#### イ 道德教育の充実

- ・保護者への授業公開（ふれあい道德）と参加型授業の推進
- ・職員が率先垂範する道德教育の推進（立腰、トイレスリッパ等）

#### ウ 人権・同和教育の推進

- ・違いを認め合い、支え合い、つながり合う仲間づくり
- ・人権集会や人権週間の設定による、児童・保護者・地域への啓発や発信

#### エ 特別支援教育の推進

- ・特別支援教育コーディネーターを中心とする校内支援委員会の活性化
- ・個別の支援計画・指導計画に基づく指導・支援

#### オ 健康教育の推進

- ・「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」の取組
- ・外遊びの奨励
- ・給食を通した「食」の自己管理能力向上と感謝の気持ちの醸成
- ・ユニバーサルデザイン化された授業づくり（聴覚・視覚的資料の活用）
- ・年2回のQUアンケート実施とK3法による事例研究

#### カ 幼・保・小・中連携の推進

- ・幼保小連携による小学1年生入門期へのきめ細かな指導
- ・小中の接続期における適切なステップの設定
- ・幼保小中教師による授業や研修の実施

#### キ 職員の資質や指導力向上

- ・ICT利活用教育への積極的な取組
- ・発達障害に関する専門性の向上
- ・自己目標と学校評価を連動させ、PDCAサイクルに沿った教育活動
- ・心身の健康への自己管理能力
- ・服務規律の保持

#### ク 家庭・地域との連携強化

- ・学校支援地域本部と連携した官民一体型学校づくりの推進
- ・家庭と学校が連携した読書活動の推進
- ・お話会、ノーテレビ・家読（うちどく）
- ・市立図書館との連携